

おぐま



2024

3

No. 833

● 広報

豊かな山の恵み - メープルサップ採取 -

2月17日、教育委員会が主催する森の楽校③が開催され、好天の下、7家族15人がメープルサップの採取を体験しました。メープルサップとはイタヤカエデやオニグルミ等から取れるほのかに甘い樹液のことで、これを煮詰めるとメープルシロップができます。

この日、参加した皆さんはイタヤカエデでの採取の方法を体験した後、おぐまに開発総合センターでバームクーヘンづくりに挑戦しました。

冬の「白い森」へようこそ。

白い森フードツーリズム事業

冬の魅力体感ツアー

2月3日から4日の2日間、食文化や地域ならではの暮らしの魅力を伝え、食による関係人口の創出拡大を目指す、白い森フードツーリズム事業の「冬の魅力体感ツアー」を開催しました。事業を始めてから3年目で初めて開催するこの冬のツアーには、12人のかたが参加しました。

ツアー初日には、冬の手仕事であるつる細工の体験として、あけびづるで鍋敷きを作り、参加者には「一生の宝物ができた」と大変好評でした。その後は、大宮子易両神社での節分祭に参加し、豆まき行事を楽しんだほか、小国の冬



▲地域のかたからつる細工を学ぶ



▲巨大かまぐらの見学

の風物詩である民宿の越後屋の巨大かまぐらに入ったり、マタギや冬の生活のお話を聴いたりして、自然とともにある小国の暮らしに感銘を受けていました。宿泊は国民宿舎飯豊梅花皮荘で、地元の料理に舌鼓を打ち、飯豊温泉でゆっくり疲れを癒しました。

翌日は、水源の郷交流館の御食事処ほたるで、わらび粉100%のわらび餅作りに挑戦。火にかけて練っていくうちにどんどん黒く艶やかになっていく様子を楽しむとともに、できたての温かいわらび餅を味わいました。蕎麦打ちも体験し、「思ったより力がある」「切るのが難しい」と悪戦苦闘しながら

らも、自分たちで打った蕎麦の味に大満足していました。午後からは、おやつやNaëbaacoへ。かんじきで雪原を走ったり、動物の足跡を探したりと雪遊びを満喫した後は、心のこもったおやつを食べながらツアーを振り返りました。

少雪でわかさぎ釣りはできなかったものの、冬の小国を存分に満喫した2日間となり、「桜の季節にまた来たい」「つる細工講習会に参加したい」など、再訪を望む声が多く聞かれました。

実施にあたっては、たくさんの方の皆さんにご協力いただき、大変ありがとうございました。町ではこれからも、白い森おぐにのファンづくりに取り組んでいきます。



白い森ローカルビジネス創出塾 事業報告会

2月7日、カモスクにおいて今年度の受講生3人による白い森ローカルビジネス創出塾事業報告会を開催しました。会の前半では「仕事と仲間の創り方」というテーマで、山口県で食に関わる活動をしている石田香織氏の講話をお聴きし、その後、各自のプラン発表に加え、開発中のスイーツメニューの試食も行いました。

会場からは、発表者のプランを応援するコメントや自分も一緒に何か取り組みたいという声が寄せられました。

<第5期生と発表テーマ>

舟山康名さん

「蔵を活用し子育て世代を中心とした居場所づくり」

遠藤桃代さん

「街コンを起点とした出会いの場の創出」

荒川澄子さん

「酒粕を利用した醸されるスイーツの商品開発」



協力隊通信

series 95

「小国町を知らなければ良かった」

緑のふるさと協力隊 川添 翔大

本来の冬の小国を体験できなくて拗ねている川添です。

さて、私の活動も今月の14日をもって終了します。この一年を振り返った感想はここだけでは書き表せません。多くのかたがたと出会い、助けられました。おかげさまで4月から体重が5kg増え困っています(笑)。

それはさておき、私が皆さんにどのような活力や影響を与えることができたかは、分かりません。でも、私は「こんなに小国町が好きで離れたくないと思うなら、知らなければ良かった」と思うぐらい居心地が良かったです。

私は、自然ある小国・面倒見が良すぎる小国・温かい小国で叶えたい目標・夢が見つかりました。その夢に向かうため、一旦小国町を離れますが、また遊びに来ます。

一年間お世話になりました。



4月小国町上陸



協働の地域づくり

くまちづくりパートナーシップモデル事業の事例からく

「協働」とは、地域と行政がともに考え、同じ目的のためにそれぞれの役割を分担し、ともに力を合わせて活動することです。

本町では、令和4年度から地域と行政が協働して、地域の課題解決や地域づくりなどに取り組む仕組みづくりに向け、「まちづくりパートナーシップモデル事業」を実施しています。今回はこの取り組みについて紹介するとともに、協働による地域づくりについて考えます。

人口減少下での

地域づくり

現在、少子高齢化や人口減少が進行し、高齢者が安心して暮らせる環境整備が不可欠となる一方、地域づくりを担う若者層の流出により、地域づくり活動人口が減少しています。

一方、行政の役割も多様化、複雑化しており、これからは地域と行政職員が協働して地域づくりに取り組むことが重

要となります。

本町の中長期的なまちづくりの指針となる小国町総合計画基本計画(令和元年度策定)には「協働の地域づくり」として、地区に町職員が出向き、情報収集のほか、地区の住民と課題解決に取り組むことが盛り込まれています。また、令和3年度に策定した過疎地域持続的発展計画では、様々な主体の関わりによって集落整備や集落機能の維持、保全を進めていくにあたり、これ

まで以上に地域と密着するなど行政も一体となった展開を図ることとし、「地域支援職員派遣制度」を検討し、行政内部における仕組みづくりを進めることが述べられています。

この「協働の地域づくり」を推進するため、令和3年度には各地域のサロンや地域づくり団体等へのヒアリングを実施し、地域の現状や実情、地域づくり活動を実施するうえで課題等を整理しまし

地域支援職員派遣制度のイメージ図

こんなことに困っている…



こんなことをやってみよう!

パートナー職員に相談してみよう!



道路に穴があって困っている…



みんなで交流する機会を作りたい!

地域整備課の職員に伝えます!

交流する機会は、どのようなイメージですか? 他の地区の事例もご紹介しますので一緒に進めていきましょう!

た。また、令和4年度には「地域支援職員派遣事業」導入のためのモデル事業として「まちづくりパートナーシップモデル事業」を実施しました。

まちづくりパートナーシップ モデル事業の取り組み

まちづくりパートナーシップモデル事業は、地域と行政がともにまちづくりのパートナーとして「協働のまちづくり」を推進するため、地域と行政のつなぎ役となるパートナー職員をモデル地域に配置するものです。

パートナー職員は地域住民と一緒に地域活動を盛り上げるほか、生活に身近な課題の解決策を考え、地域活動に役立つ情報を提供するなど多方面から地域づくりに参画します。

令和4年度はモデル地区として「北東部地区」を選定して、川西町の特定非

営利活動法人きらりよしじまネットワーク事務局長の高橋由和氏をコーディネーターとした全5回のワークショップを実施し、地域住民17人とパートナー職員が参加しました。

4つのグループにわかれ、町の人口推移や高齢化率、財政力指数といったデータによって、現在の状況を把握し、地域に対する危機感の共有等を行い、なぜ協働が必要であるのかについて考えるとともに、



▲まちづくりパートナーシップモデル事業 第1回ワークショップ

地域課題の洗い出しを行いました。また、先進地である川西町吉島地区を視察し、活動組織の立ち上げまでの過程や、協働による住民主体の地域づくり、地域による人財育成等について学びました。ワークショップの最終回ではグループで整理した課題の解決につながる「地域でやってみたいこと」を共有し、そのために、どのように協働するのかについて話し合い、実現に向けた行動計画を作成しました。

ワークショップ参加者からは「最初は何をすればいいのかわからないままスタートしましたが、講義を受けていくうちに、少しずつ着地点が見えるようになってきました。参加者が共通の認識をもって話し合うことは有意義でした」といった感想のほか、「子ども食堂をやってみた

い」や「子どもたちが集まる場を作りたい」といった北東部地区で実践したい具体的な内容が出ました。

ワークショップ終了後には、参加者を中心に地域のコアメンバーを選出し、地域づくりや地域活動についての話し合いが続けられています。

北東部コミュニティ睦の活動

北東部地区で地域活動を行う「北東部コミュニティ睦」はまちづくりパートナーシップモデル事業のコアメンバー会議をきっかけとして立ち上がりました。

令和5年度は「北東部納涼盆踊り祭」の開催や全国火災予防運動に合わせた夜回りを実施しています。

盆踊り祭では、北東部地区の若者が中心となり、地域を巻き込みながら、活動しました。例えば、会場内に設置す

特集 協働の地域づくり ～まちづくりパートナーシップモデル事業の事例から～

る灯籠の障子紙貼りを地域サロンに依頼したほか、小国高校木工部が竹灯籠を作製するなど年代や地域を問わず多くのかたが盆踊りに協力しました。

また、秋に実施した夜回りでは、北東部地区の子もたちが拍子木を持って幸町などを練り歩き、火災予防の啓発を行いました。これは、地区のかたから「昔は夜回りをしていた」という話を聞き、それに興味を持った睦のメンバーが復活させたものです。

幸町に住む東海林ティ子さんは夜回りについて「小さな子どもたちが歩いているところを見て、様子が気になり一緒に歩きました。昭和40年代あたりは長期休みのたびに各地区でこういった活動が行われていました。最近はそのようなこともなくなりましたが、久しぶりに子どもたちの夜回りする様子を見て、当時のことを思い出しました」と



- ① コアメンバーによる話し合い
- ② 盆踊りサロンでの障子紙貼り作業
- ③ 保存会による踊りの指導
- ④ 地域と町職員によるやぐら組み
- ⑤ 地域の若者が出店を運営
- ⑥ 盆踊り（子どもの部）
- ⑦ オリジナルポロシャツを作製・販売
- ⑧ 小国高校木工部による竹灯籠作り

北東部コミュニティ睦の活動における協働事例

○北東部納涼盆踊り祭

- ・小国高校木工部による竹灯籠の作製
- ・大宮地区の地域サロンによる灯籠の障子紙貼り
- ・地区内の移住者によるチラシのデザイン
- ・地元大工、事業所によるやぐら組みや芳名板作成、配電等の協力
- ・舟渡地区からやぐらを借用
- ・町職員による開催案内文作成、予算組み立て等の伴走
- ・地域住民による協賛金集め、参加の呼びかけ

○夜回り

- ・地区の消防団員の協力を得て実施
- ・消防署小国分署から拍子木、法被を借用



▲幸町を練り歩きを火災予防を呼びかける子どもたち

感想を話してくださいました。

北東部コミュニティ睦代表の遠藤成晃さん（大宮）にこれまでの活動についてお話をうかがいました。「地域のコアメンバーでの話し合いの中から睦ができました。年代が近い人だけではなく、幅広い世代から仲間を集めており、『楽しいことがしたい』という思いで活動をしています。北東部地区のなかには育成会がない地区もあり、睦の活動

が子どもたちの思いづくりの受け皿にもなれるといいと考えています。

今年度は小坂町地区を対象にまちづくりパートナーシップモデル事業を実施しています。小坂町地区では「地域の声」を聞くことに重点を置いており、12月には地区を対象とした説明会を実施し、各地区の駐在員のかたとパートナー職員の顔合わせが行われました。

今後の事業展開

今年度は小坂町地区を対象にまちづくりパートナーシップモデル事業を実施しています。小坂町地区では「地域の声」を聞くことに重点を置いており、12月には地区を対象とした説明会を実施し、各地区の駐在員のかたとパートナー職員の顔合わせが行われました。今後、駐在員とパートナー職員による意見交換や課題の

共有が行われ、令和6年度から本格的に事業が開始します。

事業の実施について本町会館館長である杉山利夫さん（小国小坂町）は「町職員が地域に入ることはとても良い取り組みだと思います。まだ始まったばかりですので、これからお互いによく話し合い、実情に合った形で取り組みが行われていくことを期待しています」とお話くださいました。



▲小坂町地区を対象としたまちづくりパートナーシップモデル事業説明会

協働の地域づくりに向けて

「協働の地域づくり」を進めるためには、その地域に合った協働の形を見つけることが重要です。ある地区で成功したやり方を他の地区に導入しようとしても、条件や地域の課題が異なるため、うまくいかないということが発生します。

現在、実施しているまちづくりパートナーシップモデル事業では、このようなミスマッチを防ぐため、地域とパートナー職員が話し合いながら、その実情に合った協働の形を模索しています。

町では今後も「地域支援職員派遣制度」の導入について検討を続け、協働の地域づくりを推進する事業に取り組むとともに、誰もが生き生きと幸せに生活できる「暮らしやすい」まちづくりを目指していきます。



小国の伝統行事を体験

みんなで団子木づくり

2月7日、小国小学校で放課後子ども教室めっちゃが実施され、「団子木づくり」を行いました。子どもたちは色とりどりの団子や自分で作った飾りでミズキの枝を彩りました。

団子木は小正月に「豊作」や「無病息災」などの祈りを込めて飾るものです。子どもたちに小国の伝統文化に触れ、体験してもらうため、このプログラムが実施されました。

団子木は昇降口に飾られ、家族参観日には保護者のかたがたの目を楽しませていました。



白い森サステナブルデザインスクール

受講生と地域の交流会を開催

2月10日にカモスクにおいて、白い森サステナブルデザインスクール受講生の交流会が開催されました。これは、(株)ソトコトシェフズラボと連携し、小国町をフィールドに首都圏の若者を対象にした関係人口を創出するプログラムです。今年度で3年目を迎え、これまでに多くのかたが小国町を訪れました。

交流会では、参加者が小国町を訪れてから日々の生活が変わったことや、これからも小国町との関わりを持っていきたいという熱い思いが述べられていました。

小国町地域資源活用域学連携事業

大学生が移住のライフプランを発表

2月11日から14日まで、小国町地域資源活用域学事業冬合宿が実施され、早稲田大学、法政大学、東京都立大学の学生9人が参加しました。

13日には、合宿で体験したことを基に、小国町に移住することを前提とした生業やライフプランを考案しました。学生たちは酒粕を活用した生業づくりやリモート勤務での移住、小国の食材を活用したファストフード店の開業といった小国町の魅力や資源を活用したプランを発表していました。



中学生のボランティア活動

能登半島地震の募金活動を実施

2月15日、小国中学校生徒会による能登半島地震の募金活動がショッピングセンターアスモや小国町役場等で行われました。これは同校生徒が企画、実施したもので、活動を行った3年生の河内僚佑さんは「被災地のかたがたの力に少しでもなりたいたいと思ひ、活動を始めました」と話してくれました。集まった募金は山形新聞社を通じて被災地に届けられます。

また、1月26日には叶水小中学校児童会・生徒会の代表のかたが、学校内や各家庭から持ち寄った募金を健康福祉課に届けてくれました。お持ちいただいた募金は、日本赤十字社を通じて被災地に届けられます。



ハタラトーク！（若手社会人との懇談会）

「働く」について考える

小国高校1年生が町内で働く社会人と「働く」ことについて話し合い、自らのキャリア選択につなげることを目的とした「ハタラトーク！」が2月16日に小国高校で行われました。

高校生は「なぜ働くのか」や「どんな働き方をしたいのか」について考え、それを基に社会人と「働く」ことの意味やどんな働き方があるのかについて対話し、「働く」ことについて理解を深めました。



選挙啓発出前講座

高校生が模擬投票を体験

選挙制度や選挙についての理解を深め、模擬投票を通じて、投票に行くことの大切さを伝える選挙啓発出前講座が、2月19日に小国高校で行われ、2年生が参加しました。

講座では、選挙制度について説明を受けた後、実際の投票と同じ流れで模擬投票が行われ、体験した高校生からは「18歳になって選挙に行くことに対して現実味を持っていなかったが、今回の模擬投票で想像できた」や「自分の意思を持って選挙に行きたい」という感想が聞かれました。



「白い森の国おぐに」森づくり活動の取り組みについて

小国町は、全国有数の豪雪地帯であり、「ブナの森」をはじめ、町全体を覆い尽くすように落葉広葉樹林が広がっています。この豊穡の森の象徴であるブナの木肌と、冬に降り積もる雪から連想される「白」。小国町では町全体を「白い森」と呼び、そこで培われてきた先人の技術と知恵である「ぶな文化」を基軸に町づくりを進めています。

今年度、小国町では、「やまがた緑環境税」を活用して様々な体験活動を開催し、次代を担う子ども達をはじめ多くの住民を対象に、森林や農林業への理解と促進を目的とした事業を展開しています。



白い森づくり体験事業

【おきたま森の感謝祭2023】

大宮地内「町民の森」を会場に、森づくりリレー旗の引継ぎや緑化功労者の表彰のほか、森づくり活動や森づくり教室を実施しました。森づくり教室では置賜地域の緑の少年団の子どもたちが町民の森を散策したほか小国町猟友会の協力による狩猟体験学習を行い、里山の植生や森林と人との関わり方について学びました。



▲森づくりリレー旗の引継ぎ



▲森づくり教室の様子

森から拓く時代の生業づくり事業

【林業機械操作技術研修】

町民を対象に、刈払機に関する安全衛生教育研修と研修受講者による森づくり活動を行いました。機械操作技術の向上と安全な使用方法について学ぶことで、町内の森林整備の促進に繋がるものと期待されます。



▲刈払研修会の様子



森林セラピー推進事業

【環境整備】

森林セラピー基地「ブナの森温身平」の機能と景観を保ち、訪れるかたがたが快適に森林セラピーを楽しめるよう、セラピーロードの環境整備を行いました。



▲セラピーロード環境整備の様子

生涯学習講座開設事業

【白い森子ども体験教室】

幼児や小学生を対象に、町内に生息する生物の観察や森林散策を通じて、森林環境やさまざまな動植物の特徴と役割について学びました。



▲小学生の親子を対象とした森の楽校



令和6年第1回 小国町議会臨時会

令和6年第1回臨時会が2月20日に開催されました。令和5年度一般会計補正予算が審議され、原案のとおり可決されました。内容は次のとおりです。

1月30日付の専決処分承認

1月24日から28日にかけて強い寒気が入り込んだことにより、まとまった降雪があったことに加え、今後の積雪量の増加に備えるため、除排雪に要する経費5000万円を一般会計に追加する補正予算の専決処分が承認されました。

一般会計に

7098万9千円を追加

昨年12月15日に内閣府が公表した「新たな経済に向けた給付金・定額減税一体措置」に基づく定額減税や、低所得世帯に対する給付への対応のほか、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した交流施設等の省エネ化、町道の除排雪経費等を追加するこ

ととし、補正後の予算総額は、75億720万3千円となりました。

・エネルギー、食料品価格等の物価高騰による負担を軽減

国において、住民税が均等割のみ課税の世帯に対して、1世帯あたり10万円を、さらに、住民税が非課税又は均等割のみ課税の世帯で、18歳以下の子どもを扶養している場合は、1人当たり5万円を加算して給付する制度が創設され、本制度に基づく給付金を給付するため、所要額を追加しました。

・除排雪および道路修繕に係る経費の追加

この時期としては記録的な高温が続き、除雪の出動回数が減少している一方、排雪箇所が堆積した雪の融雪が早いため、早期にこれを排除することや、除排雪で生じた道路の陥没等を整正する必要があるため、これに要する経費を追加しました。

小国町歴史民俗資料館の愛称が決定しました!!

名称及び愛称 **おぐにふるさと文化館** ひゃっこく **百石**

提案者

渡部 仁 氏 (伊佐領在住)
高橋 和衛氏 (伊佐領在住)

旧伊佐領小学校を活用して整備を進めている歴史民俗資料館の名称及び愛称を公募し、集まった35作品の中から、渡部仁氏の『おぐにふるさと文化館』という正式名称、高橋和衛氏の『百石』という愛称の2作品を採用しました。

『おぐにふるさと文化館 百石』に込められた3つの思い

- ① おぐにの先人から伝わった歴史、文化を保存している施設であることがわかりやすい。
- ② 「おぐにふるさと」に柔らかさと温かさを感じる施設であること。
- ③ 大鷲伝説の由来を持つ百石山の麓の施設であることを広く知ってもらうことができる。

ご応募いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。ごとうございました。

令和6年5月頃を予定しているグラントオープン式典にて2名の提案者に感謝状の贈呈を行います。



▲展示室の様子



▲開館予定の小国町歴史民俗資料館 (旧伊佐領小学校)

住民税均等割のみ課税世帯への給付金と 住民税非課税世帯・住民税均等割のみ課税世帯へのこども加算給付金の支給について

小国町では、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯あたり10万円を支給します。

また、住民税非課税世帯および住民税均等割のみ課税世帯のうち、18歳以下の児童を養育する世帯に対し、児童1人あたり5万円を支給します。(こども加算)

該当となる世帯には別途ご案内を送付いたします。

■支給対象世帯および支給額

令和5年12月1日時点で、小国町の住民基本台帳に登録のある世帯で、次のいずれかに該当する世帯

①住民税均等割のみ課税世帯（支給額：1世帯につき10万円）

世帯員全員が令和5年度住民税均等割のみ課税者で構成される世帯または均等割のみ課税者と非課税者で構成される世帯

②こども加算（支給額：児童1人につき5万円）

住民税非課税世帯または住民税均等割のみ課税世帯のうち、18歳以下の児童（※）を養育している世帯

※18歳に達する日以降最初の3月31日までの児童（平成17年4月2日生まれ以降の児童）

※令和5年12月2日以降、令和6年3月31日までに生まれた児童

■支給方法

①住民税均等割のみ課税世帯（支給額：1世帯につき10万円）

送付された「確認書」の内容を確認のうえ、必要事項を記入して健康福祉課に提出してください。

②こども加算（支給額：児童1人につき5万円）

送付された「お知らせ通知」及び「支給内容確認書」の内容を確認のうえ、必要事項を記入して健康福祉課に提出してください。

※下記のいずれかに該当する場合は、健康福祉課に連絡してください。

- ・同一世帯で、令和5年12月2日以降に生まれた児童がいる場合
- ・令和5年12月1日時点で、別世帯だが扶養している18歳以下の児童（平成17年4月2日以降に生まれた児童）がいる場合

■申込・問合せ先 健康福祉課（☎61-1000）へ

小国町赤十字奉仕団との交流会

■日時 3月7日(木) 13時30分～14時30分（受付時間13時～13時30分）

■場所 西置賜行政組合 消防小国分署

■対象者 どなたでも

■内容 水消火器を用いての初期消火訓練、火災発生時の煙避難体験

■講師 西置賜行政組合 消防小国分署職員

■申込期限 3月5日(火)

■申込・問合せ先 健康福祉課福祉担当（☎61-1000）へ

風力発電事業に係る環境影響評価方法書の縦覧のお知らせ

新潟県関川村において、東急不動産株式会社が計画している「(仮称)新潟関川風力発電事業」に関して、環境影響評価の調査、予測及び評価の手法をとりまとめた「環境影響評価方法書」を下記のとおり縦覧し、説明会を開催いたします。

【縦覧について】

- 縦覧書類 (仮称)新潟関川風力発電事業 環境影響評価方法書
- 縦覧場所 小国町役場2階 情報公開コーナー
- 縦覧期間 2月27日(火)～4月1日(月)
- 意見受付期間 2月27日(火)～4月15日(月)
- その他 ご意見等の提出方法など詳細は町ホームページをご確認ください。

【環境影響評価方法書についての説明会】

- 日時 3月6日(水) 18時～
- 場所 おぐに開発総合センター 集会室
- 問合先 東急不動産株式会社 戦略事業ユニット インフラ・インダストリー事業本部
風力発電事業開発部 陸上風力開発グループ (☎03-6455-2690) へ
※土日祝日を除く9時30分から18時まで

広告

リノベーションモニター大募集!

※モニターには諸条件がございます。詳しくはお問い合わせください。

「ウンノハウスって新築の会社でしょ？」

実はウンノハウスはリフォーム・リノベーションにも強いんです!

「建替えが良いの？」
「リフォームが良いの？」
どっちが本当に良いのかな?

リフォームって
どこまで
できるの?

耐震とかは
大丈夫?

断熱
とか?

古すぎるけど
直せるの?

ウンノハウス

株式会社ウンノハウス リノベーション事業部

お問合せ

0120-73-8718

営業時間/9:00-18:00 定休日/火曜日・水曜日

【米沢ショールーム】▶米沢市金池5丁目3-2

【山形ショールーム】▶山形市大野目4丁目1-37

【福島ショールーム】▶福島市吉倉字前田25-5

【仙台ショールーム】▶仙台市青葉区昭和町3-15 1F

ホームページは
こちらから▼



■建設業許可/国土交通大臣許可(特-3)2980号 ■宅建免許番号/国土交通大臣(15)第747号 ■(公社)山形県宅地建物取引業協会会員 ■東北地区不動産公正取引協議会加盟

小国町スポーツ協会表彰式・小国町スポーツ講演会を開催

1月27日、小国町スポーツ協会表彰式が開催され、町内外で活躍した選手や団体、指導者等103人が表彰を受けました。受賞者代表として昨年、高円宮賜杯第43回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメントへの出場を果たした小国野球スポーツ少年団小国ビーグルズの小田浩史監督が「チーム全員で様々な困難や壁を乗り越え、全国大会への切符を勝ち取ることができました。今後も技術力だけではなく、人として成長してもらえようような指導をしていきたい」と抱負を語りました。

表彰式終了後には小国町スポーツ講演会を開催し、約100人が参加しました。講師としてオリンピックでフェンシング元日本代表の池田めぐみさんをお招きし、コンディショニングについてご講演いただきました。参加者は身体を動かしながら、パフォーマンスを向上させるコンディショニングについて理解を深めました。また、質疑応答ではチームメイトがミスした際のフォローについて等の質問があり、実体験を交えながらお答えいただきました。



▲スポーツ講演会では参加者全員でコンディショニングを体験



▲スポーツ協会表彰式受賞者代表あいさつ

故佐藤祐一さん 旭日単光章受章

元小国町議会議員の故佐藤祐一さんが旭日単光章を受章され、2月1日ご遺族に伝達されました。

佐藤さんは平成3年6月から平成11年4月まで、及び平成15年4月から平成23年4月までの通算4期16年の永きにわたり、小国町議会議員として旺盛なる行動力と卓越した見識を持って、地方自治の振興発展にご尽力いただきました。



おぐにバレーボールスポーツ少年団が全国大会に出場します！

3月28日から宮城県のセキスイハイムスーパーアリーナ等で開催される第21回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会に、おぐにバレーボールスポーツ少年団が出場することにもない、2月2日に激励金交付式が行われました。同大会への出場は今回で4回目となります。

大会参加にあたり齋藤秀隆監督から「今まで応援いただいたかたがたに、子どもたちの勝利した歓喜の笑顔をお見せできるよう、最後までしっかりと試合に挑みたい」とあいさつがあり、キャプテンの齋藤梨瑚さんは「県代表として一戦一戦を大切に楽しく全力でプレーしたいです」と大会に向けた意気込みを語ってくれました。

全国大会での活躍を皆で応援しましょう！



▲前列左から齋藤秀隆監督、齋藤梨瑚さん、舟山実里さん、今ももかさん、須藤優芽さん
後列左から須藤あかりさん、今盛美怜さん、佐藤陽香さん、木村萌さん

挑め、ともに！

地域実践学発表会

2月15日(木)、2年生による「マイプロジェクト」の発表会が行われました。白い森未来探究学の時間や放課後、休日などを使って取り組んできたことや来年度に向けた展望を、先生がたや1、3年生、地域のかたを前に発表しました。

■「洋服」に興味をもってもらうことをテーマにした生徒

マイプロでは友人のコーディネートトを考えたたり、着なくなった服のリメイクに取り組んだりしました。

発表会では「あなたのインスタをきっかけに服に興味を持ち始めた」と感想を書いてくれた人がいて、自分の活動が形になってきているのだと感ずることができました。



小国高校魅力化通信③



■「和紙」について取り組んだ生徒

伝統工芸や文房具に興味があったので「和紙」をテーマに選びました。

地域のかたの紹介で和紙工房を見学したり、「つむぐ」主催のちびっこマルシェで「ちぎり絵体験」を開催したりしました。

発表会で頂いたアドバイスで、和紙の更なる可能性を感じました。

お知らせ

町営住宅入居者募集

小坂町団地

3DK 3戸（2階、4階）

あけぼの団地

2DK 1戸（1階）

■対象 世帯状況に応じた所得制限あり

◎家賃 所得により決定

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 3月11日(月)

◎入居時期 4月上旬以降

◎問合せ先 地域整備課建設管理担当（☎62-2431）へ

『やまがた縁結びたい』による結婚相談会

■日時 3月23日(土) 13時～16時45分

■場所 やまがたハッピーサポートセンター置賜支所（米沢市）

■対象 結婚を希望するかたまたはそのご家族（予約制）

■内容 婚活の仕方、お見合い相手の紹介などについて個別相談

■その他 県登録ボランティア仲人「やまがた縁結びたい」

い」募集中。詳しくはホームページをご覧ください。

■申込・問合せ先 やまがたハッピーサポートセンター（☎023-687-1972）へ

国家公務員「国税専門官採用試験」のお知らせ

仙台国税局では、バイタリティーあふれる国税専門官を募集しています。国税専門官は、国の財政を支える重要な仕事を担い、税務署等において、調査・徴収・検査や指導などを行う税務のスペシャリストです。

■受験資格

- ①平成6年4月2日～平成15年4月1日生まれのかた
- ②平成15年4月2日以降生まれのかたで、大学（短大を除く）を卒業したかた及び令和7年3月までに大学卒業見込みのかたまたは人事院が同等の資格があると認めるかた

■受付期限 3月25日(月)まで

■第一次試験日 5月26日(日)

■問合せ先 仙台国税局人事第二課試験研修係（☎022-263-1111）内線3

236）へ

協会けんぽの保険料率等が変わります

協会けんぽ山形支部の健康保険料率及び介護保険料率は令和6年3月分（4月納付分）から引下げとなります。

今年度の保険料率引下げには、皆さまの健康づくりへの取り組み（インセンティブ制度）の結果が大きく影響しています。協会けんぽでは、付加健診の対象年齢を拡大するなど、健康づくりを推進してまいります。引き続き疾病予防等への取り組み（健診、特定保健指導等）にご協力をお願いいたします。

■健康保険料率

9・98% ↓ 9・84%

■介護保険料率

1・82% ↓ 1・60%

※40歳から64歳までのかた（介護保険第2号被保険者）は、健康保険料率に介護保険料率が加わります。

■問合せ先 全国健康保険協会山形支部企画総務グループ（☎023-629-7226）へ

令和5年度東日本大震災復興祈念事業

追悼・復興・再生

東日本大震災 それぞれの13年 あの日、あの時
～忘れはしない！後世に語り継ぎ、災害にどう備えるか？～

■日時 3月11日(月) 11:00～18:00

■場所 置賜総合文化センター（米沢市）

■内容 献花、黙とう（14:46）、山形県警察音楽隊演奏、東日本大震災写真展、竹あかり、防災用品展示、まちの保健室（健康相談、血圧・握力測定）

■問合せ先 置賜総合支庁総務課防災安全室（☎0238-26-6007）へ

令和6年3月1日から戸籍証明書の請求が便利になります

【戸籍証明書・除籍証明書の広域交付】

○本籍地が遠くにあるかたでも、最寄りの市区町村の窓口で請求できます。

○必要な戸籍の本籍地が全国各地にあっても、1か所の市区町村の窓口でまとめて請求できます。

【例】小国町以外に本籍がある場合でも、小国町の窓口でまとめて請求し戸籍証明書等を入手できます。

■注意事項

- ・広域交付の手数料は、これまでの交付手数料と同額です。(戸籍証明書450円、除籍証明書750円)
- ・戸籍証明書等を請求できるかた(本人、配偶者、父母、祖父母、子、孫などの直系尊属・卑属のみとなります。)が、窓口にお越しになって請求する必要があります。(郵送や代理人による請求はできません。)
- ・窓口にお越しになったかたの顔写真付きの身分証明書(運転免許証、マイナンバーカードなど)の提示が必要です。
- ・コンピュータ化されていない戸籍証明書は請求できません。

■その他

- ・上記の他にも、戸籍届出(婚姻届など)における手続きの負担が軽減されます。
- ・詳しくは、法務省ホームページをご覧ください。

(URL:https://www.moj.go.jp/MINJI/minji04_00082.html)

■問合せ先 町民課住民窓口担当 (☎62-2260) へ

自動車の検査・登録手続きはお早めに！！

例年、年度末は自動車の検査や登録の手続きが集中し、窓口が大変混み合います。自動車の継続検査(車検)や、移転登録(名義変更)、抹消登録等の登録手続きは、お早めにお済ませください。

登録手続きに必要な書類等の案内は、山形運輸支局のホームページのご利用が便利です。



■窓口開庁時間 8:45~11:45、13:00~16:00(土、日、祝日を除く)

■問合せ先 山形運輸支局(☎050-5540-2013)へ

千代田クリーンセンター 「くりえいと工房」再生品の提供

千代田クリーンセンターくりえいと工房では、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、展示及び無償提供を行っています。

■提供品 自転車10台、家具類5点(各回予定数)

■応募方法 千代田クリーンセンターに備え付けの申込用紙により応募してください。応募する際に身分証明書が必要となります。複数応募があった場合、抽選により当選者を決定します。

■時間 9:00~16:00(日、祝日を除く)

■料金 無料(ただし1世帯1点まで)

	展示期間	公開抽選
第1回	4月3日(水)~5月2日(木)	5月8日(水)
第2回	6月5日(水)~7月6日(土)	7月9日(火)
第3回	8月7日(水)~9月7日(土)	9月10日(火)
第4回	10月9日(水)~11月30日(土)	12月3日(火)

■問合せ先 千代田クリーンセンター 施設第2係(☎0238-57-4004)へ

広告

2024年



4月リニューアル

温泉施設・ベーカリーカフェ
レストラン・フィットネスクラブ **オープン**

TAS Park Hotel 993-0011 山形県長井市館町北6-27
タスパークホテル 長井 TEL 0238-88-1833

総合センター 図書室から

～新着図書～ 休館日 毎週月曜日・祝日

- ◇リカバリー・カバヒコ 青山美智子
- ◇星を編む 凧良ゆう
- ◇1100日間の葛藤 尾身茂
- ◇なんで私の給料からイロイロ田 淵宏明
引かれるの？
- ◇リュウジ式 至高のレシピ リュウジ

～除籍本の提供について～

蔵書点検で発生した除籍本を提供します。誰でも自由に何冊でも持ち帰ることができます。

■期間 3月22日(金)～4月7日(日)

■場所 おぐに開発総合センター1階元食堂

■問合せ先 教育振興課（☎62-2141）へ

求人情報

右の表は2月16日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎84-8609）へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
株式会社 横川建設	現場管理（1級又は2級土木施工管理技士）	1人	8:00～17:00
	重機オペレーター見習い	2人	
	作業員（分別作業等）	2人	
	事務員	2人	
社会福祉法人 小国福祉会	看護師	1人	8:00～17:00他
	調理員（食器洗浄パート）	1人	10:30～13:30
	介助員（食事介助）	1人	7:15～9:15
	介助員（入浴介助）	1人	9:15～13:15
山和建設 株式会社	二級土木施工管理技士・二級建築施工管理技士【本社】	3人	8:00～17:00
	一級土木施工管理技士・一級建築施工管理技士【本社】	3人	
荒川興業 株式会社	製造加工/臨時職員	1人	8:20～17:10
事業所の意向により非公開	技術支援等業務（電気通信）【山形県西置賜郡小国町】	1人	8:30～17:30
株式会社 コメリ	販売・店舗運営職（リージョナル社員）	1人	8:45～18:00他
株式会社コメリ 新潟ストアサポートセンター	販売員（コメリハード&グリーン小国店）アルバイト	1人	17:00～19:30
	販売員（ハードアンドグリーン小国店）準社員	1人	12:45～17:00
		1人	8:45～13:00
アクサ生命保険株式会社 米沢営業所	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ【小国町】	2人	9:15～17:00他
有限会社 光警備保障	警備員	2人	8:00～17:00
猪野電気工事 株式会社	内線工事作業員	1人	8:00～17:00
株式会社 ビーネックステックノロジーズ 仙台オフィス	半導体部材製造ラインにおける生産技術業務	1人	8:20～17:10
株式会社 山形銀行	銀行業務（事務・窓口：小国町内店舗）	1人	8:30～17:00
		1人	9:00～17:00の間の5時間
株式会社 ニチイ学館 山形支店	（請）医療事務（小国町）	1人	8:30～17:15
株式会社 山芳工務店	電気設備工（見習い）	3人	9:00～18:00
モメンティブ・テクノロジーズ・山形株式会社	バイヤー（調達担当）	1人	8:20～17:10
	製造技術担当業務	1人	
事業所の意向により非公開	事務職	1人	8:00～17:30
事業所の意向により非公開	製品製造工	2人	8:00～17:30
医療法人社団 緑愛会 満天の家	介護職（交替制）	1人	6:45～15:45他
株式会社 ケイプロダクツ	ショッピングサイト管理（HP製作等）	1人	9:00～18:00
		1人	
小国開発 株式会社	建設ディレクター	3人	8:00～17:00
桜川酒造株式会社	事務員	1人	8:00～15:00他

今月の納税 2024.3

3月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

● 3月26日(火) 水道料、下水道料、簡易水道料

● 4月1日(月)

国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ先 税務課税政管理室（62-2403）へ

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
 ※町ホームページに求人情報を掲載しています。



●小国町役場 代表（総務企画課） ☎ 62-2111 代 fax62-5464

●行政管理室 ☎ 62-2112
●観光経済室 ☎ 62-2416
●住民窓口担当/町民生活担当/危機管理担当 ☎ 62-2260
●建設管理室 ☎ 62-2431

●企画財政室/次期総合センター推進室 ☎ 62-2264
●白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821
●国保医療担当 ☎ 62-2261
●建設技術室 ☎ 62-2432

●会計室 ☎ 62-2406
●農林振興室 ☎ 62-2408
●税政管理室 ☎ 62-2403
●議会事務局 ☎ 62-2448



戸籍のまど

（ 1 月 届 出 分 ）

誕生おめでとうございます。

玉川 佐藤 稜香（孝典 理沙）
北 鈴木 希杏来（秀人 沙耶）
小国小坂町 船山 紘（健真 吾緒）

結婚おめでとうございます。

（ 小国小坂町 清野 峻
新潟県 南波 佑奈 ）

おくやみ申し上げます。

小国小坂町 渡部 カネ子 (93)
叶水 小野 おあき (99)
小国小坂町 遠藤 ときわ (95)
兵庫 舘 齋藤 弘 (84)
舟渡 和田 チトセ (100)
叶水 直木 登代子 (99)
岩井 沢加藤 友四郎 (88)
北 佐藤 カネ子 (92)
緑町 井上 スミ子 (92)
あけぼの 高橋 克子 (79)
東原 佐藤 和廣 (80)
緑町 後藤 とわ (95)
西 伊藤 操 (75)
幸町 横山 達美 (96)
小国小坂町 伊藤 昭吉 (96)
黒沢 伊藤 ヨシ子 (92)
東原 渡邊 重雄 (92)
越中里 高橋 昭一 (91)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき（令和6年1月31日現在）

人口 男・・・3,386人（-11）
女・・・3,332人（-6）
計・・・6,718人（-17）
世帯数 2,960世帯（-7）

3月のスポーツイベント 動いて健康サプリ リバイバル「ストレッチボール」 ～足と身体のメンテナンス～



- 日時 3月16日(土) 10:00~11:00
- 場所 小国町民総合体育館
- 対象者 どなたでも
- 参加費 500円~750円（保険料込）
- 持ち物 室内シューズ、タオル、飲み物など
- 申込締切 3月13日(水)

■申込・問合先
（☎62-5808）へ



第10回マタギの里小玉川雪まつり 雪の中の大冒険〈番外編〉

- 日時 3月10日(日) 9:30~15:00
- 場所 旧小玉川小中学校
- 内容 宝探し、ティラノサウルスレースでスノーフラッグ、ソリ引き、餅まき
- 問合先 小玉川青年団イチコロ へ

子育て支援センターから

■3月の広場日程

	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:00~11:30・13:00~16:00 場所:子育て支援センター(アスモ内)	不要

- 対象者 就学前のお子さんとお家のかた
- 利用時の注意点 体調の悪い場合は、利用できません。
- その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。
- 問合先 子育て支援センター
(ショッピングセンターアスモ内・☎090-9015-8330) へ

た。要るが景すズるキンてばいま 編集後記
性をとない雪色でン時期ンてまださす
再ともい雪がになは春はははにま
認にものないな春先は冬ははに
識に、だのい春先は冬ははに
しまし、雪の感じ味気すな
し重じ重じ重じ重じ重じ重じ
(阿部)

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.53



⑤3 五味沢地区

五味沢地区ではかつて木地製作が盛んに行なわれていました。『小国町史』によると寛政2年に会津若松の職人を招き、その技術を習得したとあります。農閑期の副業として奨励されていましたが、大正時代の初めには衰退していきました。その後、五味沢の塗師職人である斎藤千代吉氏によって再興され、昭和30年代まで木地製作が続けられました。

この伝統工芸技術を現代に復興し、後世に伝えるため、平成6年には同地区内に白い森木工館がオープンし、現在も木工品の製作体験や交流の場となっています。